

生きき物が好きになるコラム！



課外授業講師による



コラム① アオスジアゲハ

【昆虫科学教育館より】



彩都周辺でもよく見かける美しい蝶、アオスジアゲハ。黒い地に緑色の縦筋がある翅が特徴で、他のアゲハチョウにはある後翅の突起はありません。アオスジアゲハの幼虫は、街の街路樹や公園の植木などで見かける「クスノキ」の葉を食べて育ちます。ですので、クスノキの周りを飛んでいるのを見たら、少し観察してみてください。運が良ければ、産卵し

ている姿を見ることが出来るかもしれません。卵は丸くて、少し白っぽい黄色をしています。葉がかじられているなら、幼虫が見つかることもあるので、ぜひ探してみてください。もちろん、花の蜜を吸っていることもあります。「今日は何をしに来ているのかな?」、そんな風に考えると、楽しくなりますね。



コラム② ヤゴ

【生物多様性センターより】



▲ギンヤンマのヤゴ。大きさは違うが同じ種類。



▲ギンヤンマのオスとメス。メスは植物に産卵する。

トンボの子どもは「ヤゴ」と呼ばれます。繁殖期になると、トンボのオスとメスが水面を飛び、水中に産卵します。水面をお尻でたくようにして卵を産むものや、植物の中に卵を産み付けるものなど、産卵の方法は種類によってさまざまです。卵がふ化するとヤゴが生まれます。ヤゴは、発達した顎をもって、水中にすむ生物を捕まえて食べます。小さい頃はミジンコなどの微生物を食べますが、大きくなるとメダカなどの魚も食べるようになります。大きくなったヤゴは水中から出て、成虫へと羽化します。成虫になると空中を自由自在に飛び回り、

小さな虫を捕まえて食べます。彩都の水辺では、たくさんの種類のトンボに出会うことができます。どんなトンボがいるのか、観察してみてくださいね。



▶ ヤゴの口。顎が伸びる構造になっており、これを素早く伸ばすことで獲物を捕まえる。

さくねん 過去の様子



さくねん うんどうかい たまご しのと
 過去の運動会では玉入れや陣取り、リレーなどの種目をしながら環境について楽しく学びました。

GECS

ゲックスってどんなサークル?

ゲックス おおさか たいがく こう じん かんきょう
 GECSは大阪大学公認の環境サークルです。私たちは、「学生」という立場から環境問題の改善に貢献することを目的に、日々さまざまな活動を行なっています。『環境教育班』では昨年に引き続き、今年度は、8月に彩都西小学校の生徒約40名を対象に、学校の体育館で「環境×運動会」を開催する予定です。私たちと一緒に楽しく運動しながら環境について学ぶことで、身近な環境問題について考えるきっかけになればと思います。

